

64ビット OS での L2Divine セットアップガイド

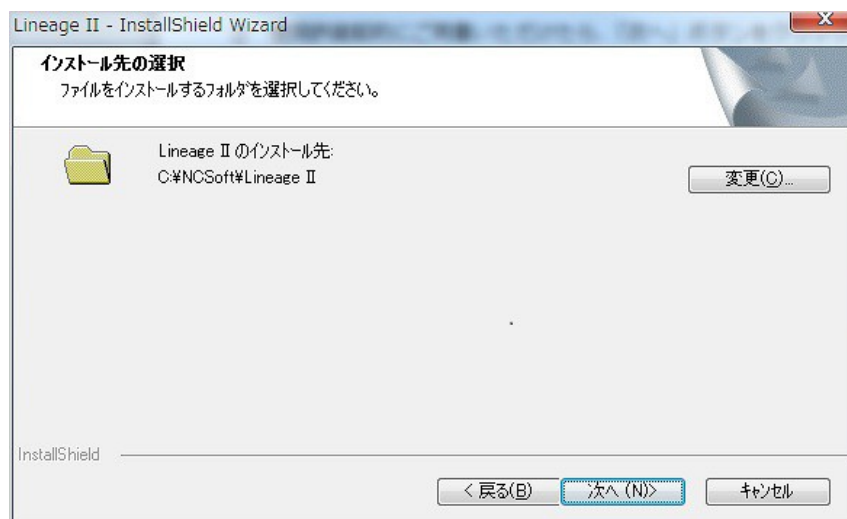
2013-05-23 gyo

L2Divine ガイドブックではサポートできていない、Vista 以降の 64 ビット OS (Windows Vista、Windows 7、Windows 8) で L2Divine をセットアップする際に必要な操作をガイドブックの補足として書いておきます。

1. Lineage II のインストール先

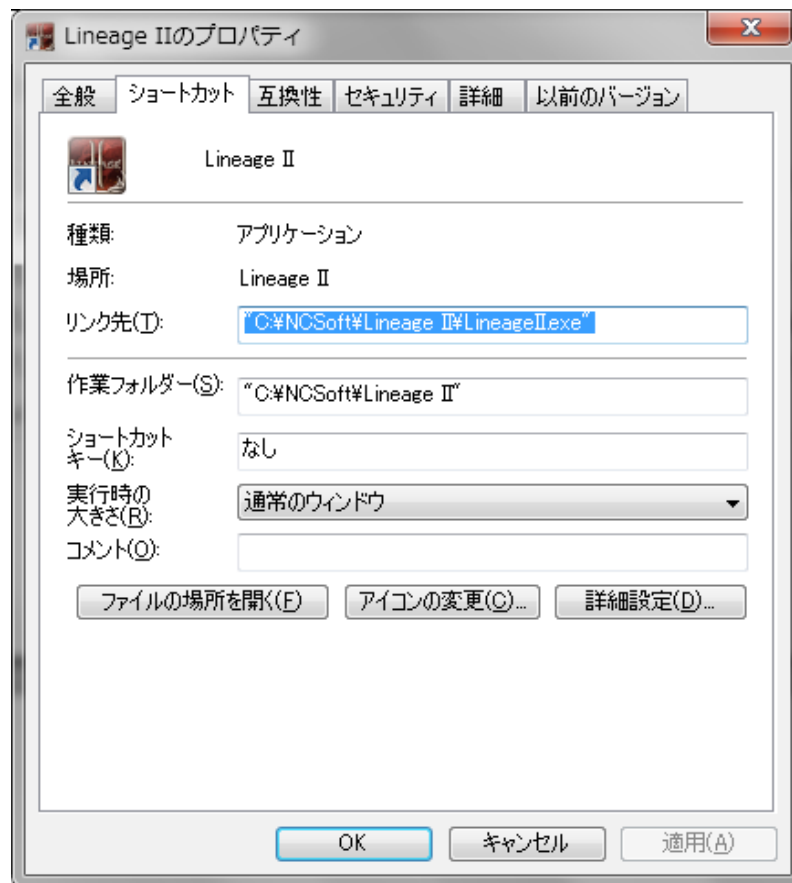
64 ビット OS では、インストール先をファイル操作に管理者権限の不要な場所にしてやらないと、L2Divine から LineageII クライアントを起動できなくなっています。これからインストールする場合はインストーラでインストール先を変更してやるのが簡単です。既にインストールしている場合は、別の場所に移動またはコピーする、あるいはアンインストールしてインストールし直すことになります。

Lineage II のインストーラを実行して、インストール先の選択画面でインストール先をデフォルトの「C:\Program Files (x86)\NCSoft\Lineage II」から、デスクトップなどのユーザフォルダや各ドライブ直下など、ファイル操作に管理者権限の必要ない場所に変更してインストールします。

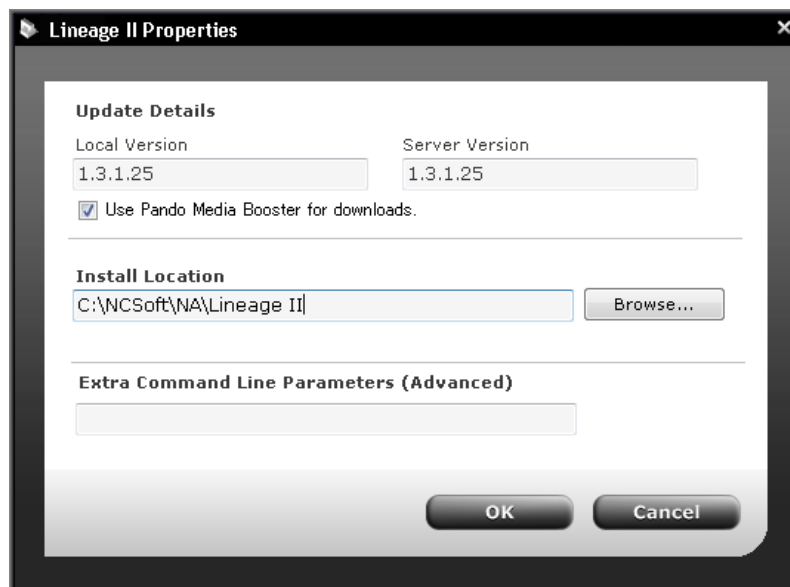


以下「C:\NCSoft\Lineage II」にインストールしたものとして説明していきます。

既にインストールしている場合は、フォルダを丸ごと(移動でもいいですが念のため)コピーして、以後に起動されるプログラムがコピー後のものになるようにしておきます。ショートカットなどをコピーしたパスのものに変えておきましょう。もともとのを削除して新しく作っても、プロパティのパスを変更しても OK です。エクスプローラで「C:\%NCSOFT%\Lineage II」を開き、「LineageII.exe」を右クリックして「ショートカットの作成(S)」を選択し、作成されたショートカットをデスクトップに移動してもよいでしょう。



NA 版も同様ですが、両方インストールするには JP 版とデフォルトのインストール先が重複していて後からインストールしたものに置き換わってしまうので、「C:\%NCSOFT%\NA」のように別のフォルダを作成しておいて、NCsoft Launcher 実行後に「LINEAGE II」を右クリックして「Properties」を選択し、Install Location を「C:\%NCSOFT%\NA\Lineage II」に変更してインストールする必要があります。既にインストールしている場合は、「Lineage II」フォルダを丸ごとコピーしてから NCsoft Launcher の Install Location 設定を変更します。



JP 版も NA 版も、アップデート時にコピー先が更新されずデフォルトでインストールしていたものが更新されてしまった場合、また「Lineage II」フォルダを丸ごと上書きコピーしてやる必要があるので
要注意です。。。

2. MS ループバックデバイスの作成

64ビット OS では、OS の権限設定 (UAC: ユーザーアクセス制御) により、Diagnostics でのループバックデバイス自動作成が正しく実行されないため、ユーザにより手動で作成してやる必要があります。ガイドブックは XP の画面となっているので、Windows 7 64 ビット版での操作を書いておきます。32 ビット版でも画面や操作は同様のはずですので、手動作成する際の参考にしてください。

2-1. スタート > コントロールパネル > 「ハードウェアとサウンド」を選択



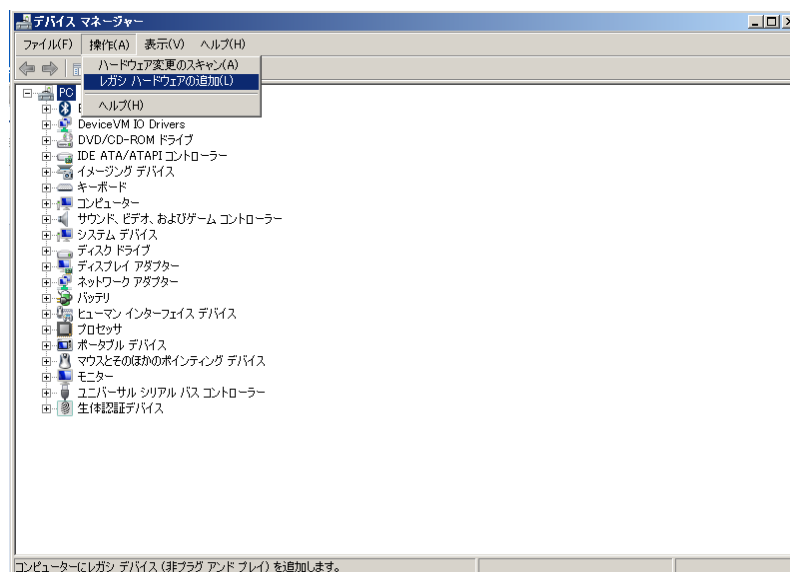
2-2. 「デバイス マネージャー」を選択



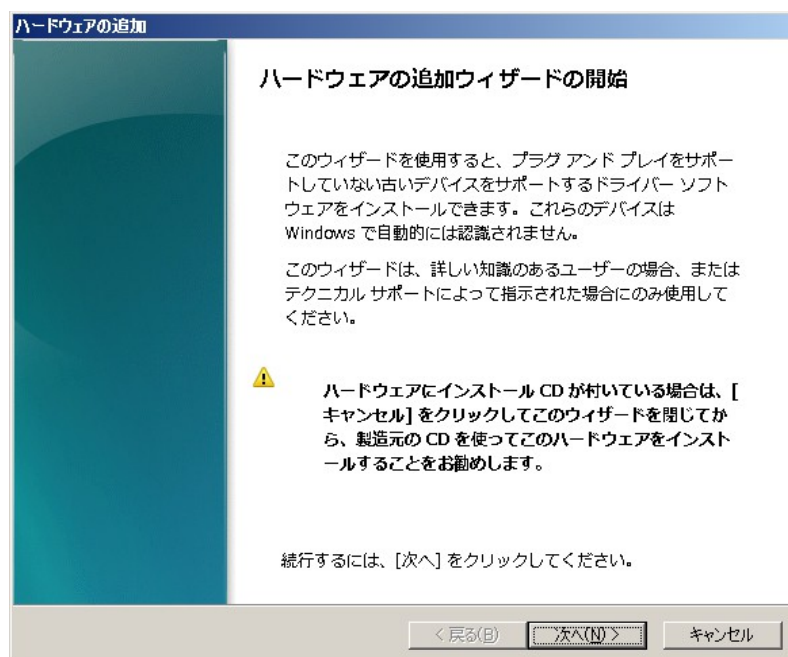
コントロールパネルの「表示方法」が「カテゴリ」以外の場合、デバイスマネージャを開く別の方法もあるので参考までに書いておきます。

コントロール パネル > 「管理ツール」 > 「コンピューターの管理」を実行し、左ペインの「デバイスマネージャ」を選択し、右ペインの「ネットワーク アダプター」を選択すると、下記と同様の操作ができます。

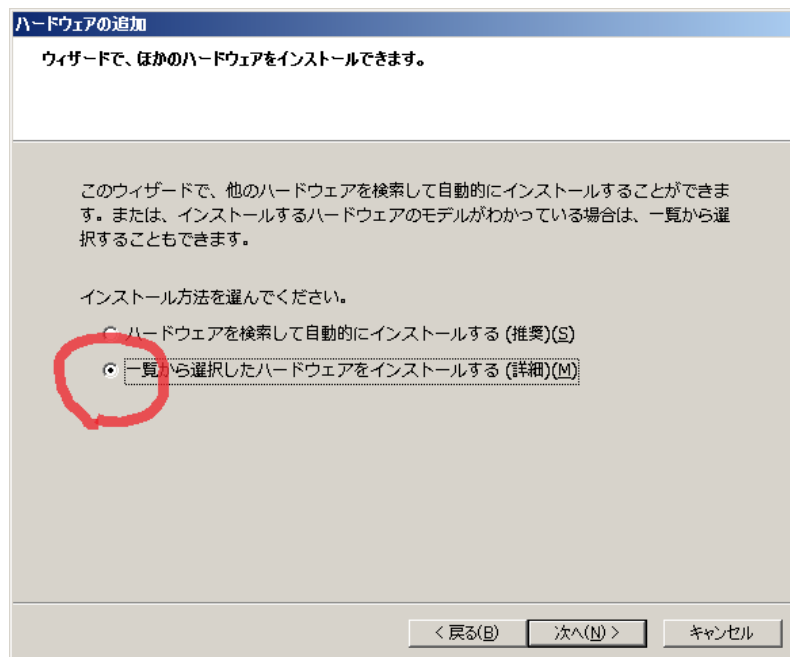
2-3. 「操作 > レガシ ハードウェアの追加(L)」を選択



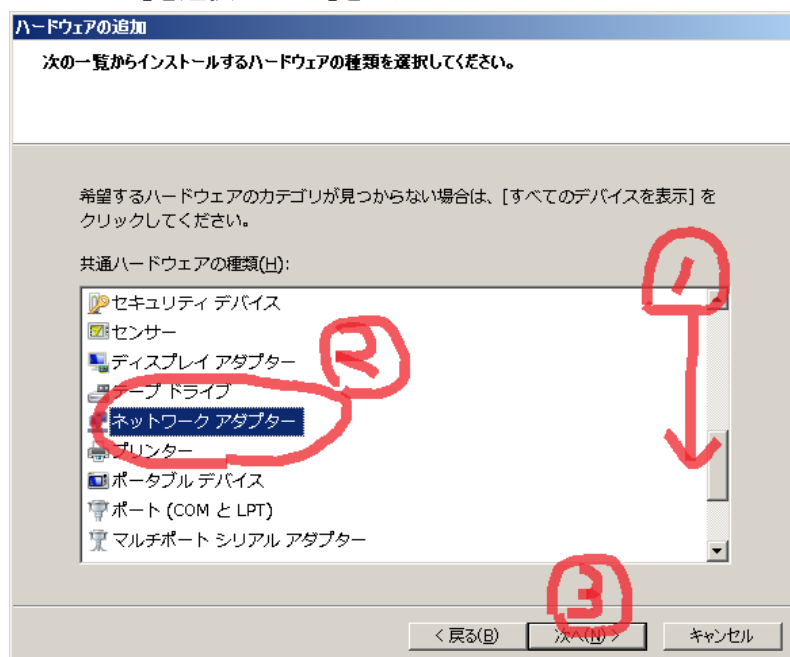
2-4. 「次へ」をクリック



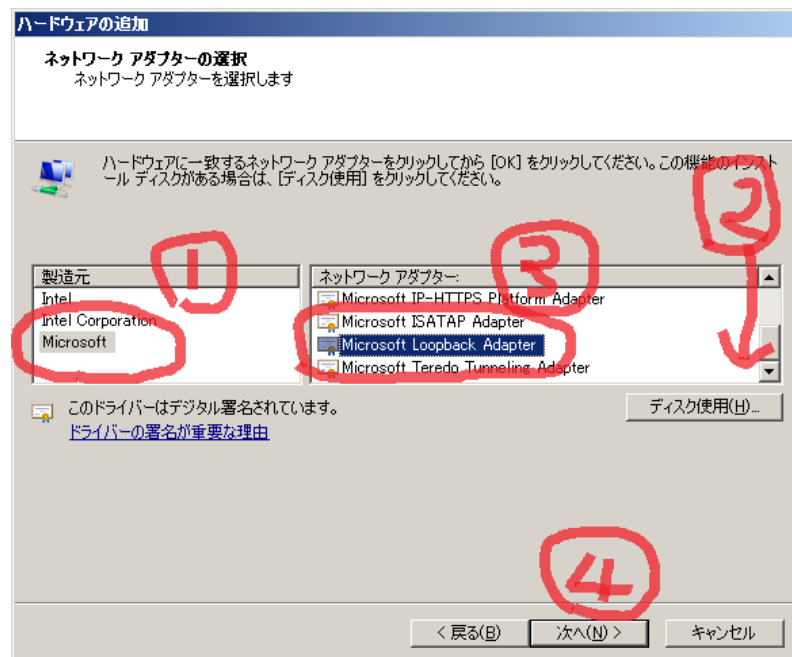
2-5. 「一覧から選択したハード…」を選択し「次へ」をクリック



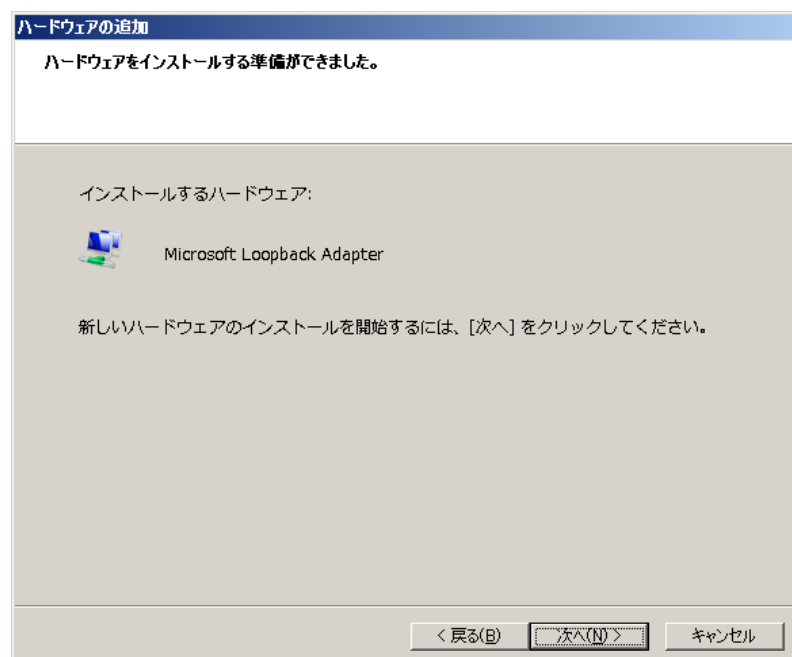
2-6. 「ネットワークアダプタ」を選択し「次へ」をクリック



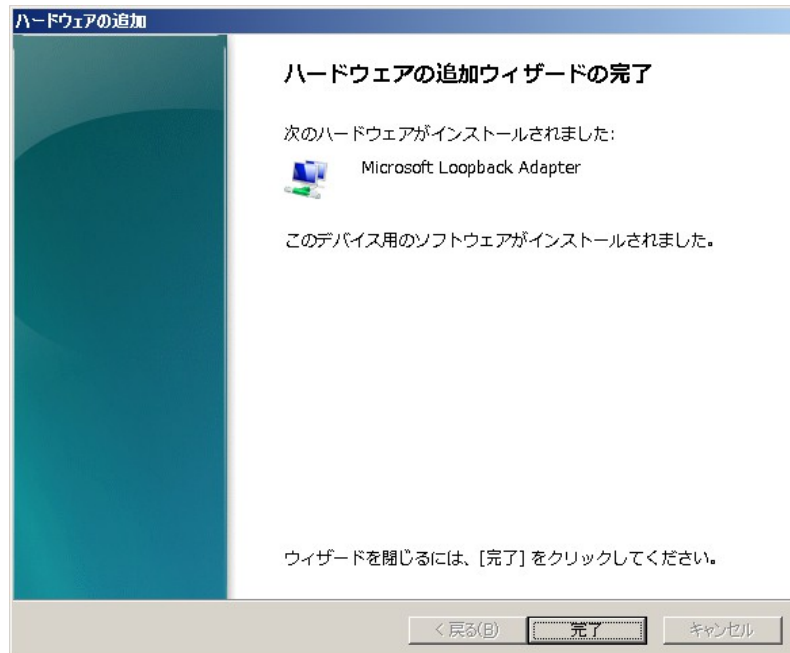
2-7. 「Microsoft」と「Microsoft Loopback Adapter」を選択 し「次へ」をクリック



2-8. 「次へ」をクリック



2-9. 「完了」をクリックし、インストールを完了させる



2-10. スタート > コントロールパネル > 「ネットワークとインターネット」を選択



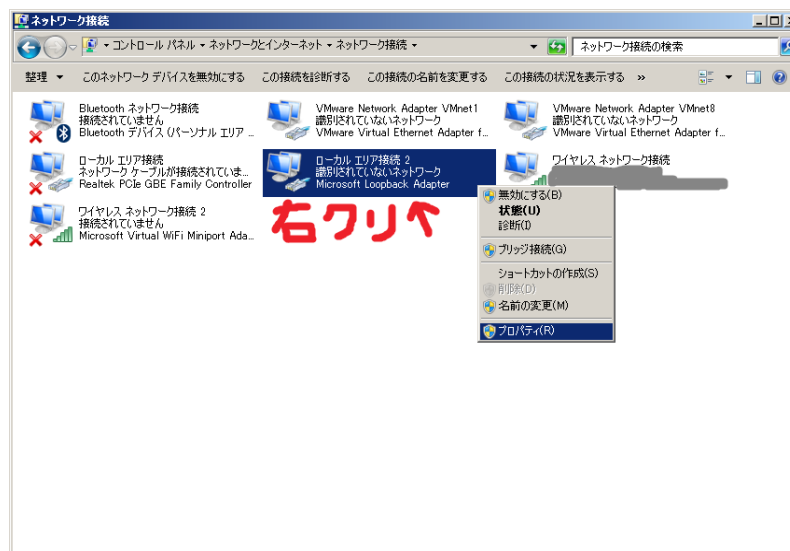
2-11. 左上にある「アダプターの設定の変更」を選択



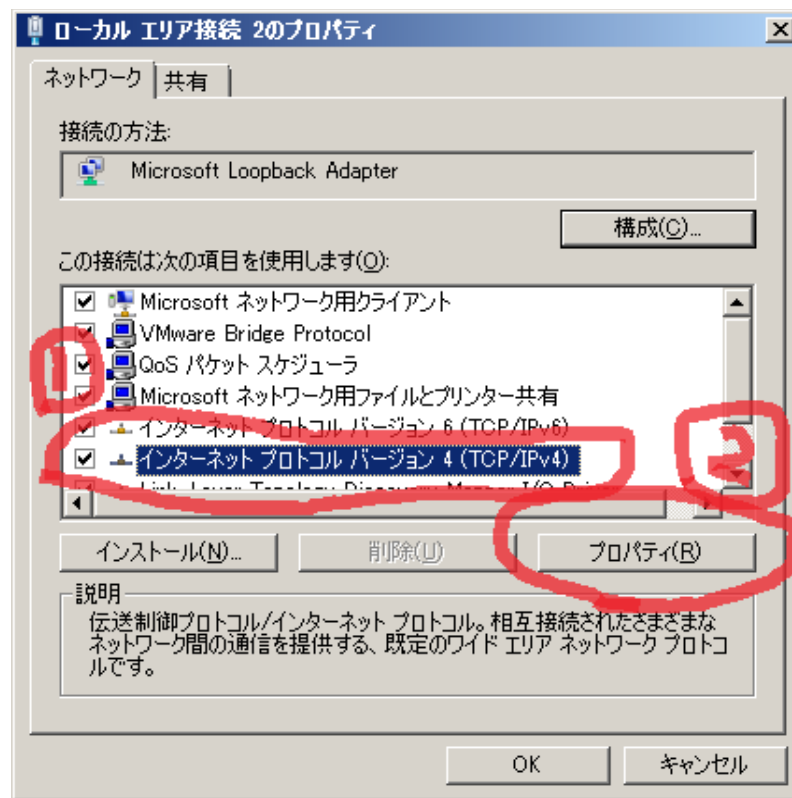
コントロールパネルの「表示方法」が「カテゴリ」以外の場合、ネットワーク接続を開く別の方法もあるので参考までに書いておきます。

コントロール パネル > 「ネットワークと共有センター」 > 左ペインの「アダプターの設定の変更」をクリックすると、下記と同じ画面が開きます。

2-12. 最新の「ローカルエリア接続 X」(Xは数字。下に「Microsoft Loopback Adapter」と書かれたもの)を右クリックして「プロパティ(R)」を選択



2-13. 「インターネットプロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択して「プロパティ」をクリック



2-14. 「次のIPアドレスを使う」をチェックし、次のIPアドレスとサブネットマスクを入力して「OK」をクリック。これで設定は完了。

IPアドレス: 61.90.252.1

サブネットマスク: 255.255.255.252

DNS: すべて空欄のまま

